

11) 日露交渉ニ對テ決議文(神戶造船會館在座)

證明者 柴田 好吉、也

ヨツテ正氏對川上ノ長春、大連會談ヨリ腹中ノ苦
決氏對カヲハニ氏ノ北京會談ニ至ルマテニケ年ニ至リ
五十年間ニ及ノ

日露兩國代表ノ會談ハ一進一退暗黒ニ進
シテ何時如何ナシ解決ノ見寄ヲ計リ知リ難キ情勢
ニアル素ヨリ兩國ノ交渉ハ少クトス日本政府ノ立脚
ハ實ニ日本世産階級ノ意志トハ決交交渉ニ行ハ
テ居ル併ニナカラ我政府ノ資本的軍國政體
略主義ニ因ル外交ハ徒ラニ兩國外交ノ恢復ヲ遲
延ヲ彼ニアリテハ新ノ社會ノ建設ノ偉業ニ支障ヲ
生ヤシ我國ニ下リテ人産業不振ニ依ル世産階級

ノ生活難ノ緩和久業防止并ニ救済ノ上ニ大ナル打撃ヲ
ヲ受ケテ居ル斯ノ如キハ人道正義ヲ基調トシテ吾人等
ノ解放運動ニ努力スル吾人等最終目標者ノ實現ニ
シテハハ甘ん所テアル故ニ吾國西勞働同盟大會ハ
日露兩國代表ニ對シテ次ノ如ク勸告
スレ

1) 労働工ニヤ政府ハ隣接日本ト國交ヲ速ニ恢復
スルニ努力シテ吾人等努力ヲ以テ在願スヘシ

2) 日本政府對ハ此ツラ労働工ニヤ即時承認シ然ルハ
利權其他ノ交渉ニ在ルヘシ

3) 日本政府對ハ北樺太、西比利亞方面ノ駐屯軍ノ
即時撤兵スヘシ

4) 利權問題ノ交渉ニ付テハ日本ハ宜ク之ヲ費事好優